

令和6年度京都府摂食嚥下等障害対応支援事業開催要領

1 趣旨

令和元年10月策定の「京都府総合リハビリテーション連携指針」に基づき、府内における摂食嚥下に関する人材育成および連携促進を目的に研修会を開催している。

今回は、令和6年度の診療報酬改定におけるリハビリテーション・栄養・口腔連携体制加算の新設を受け、医療機関（主に回復期、慢性期）のリハビリテーションに関わる医師やリハビリテーション専門職に、口腔管理の重要性についての理解を進め、対応力の向上につなげるとともに、歯科医師や歯科衛生士、栄養士・管理栄養士等との連携促進を図る。

2 テーマ

「医療機関における口腔機能管理の重要性について」

3 日 時

令和6年12月5日（木）午後4時～5時15分

4 開催方法

オンライン開催

5 対象者

医療機関（主に回復期、慢性期）のリハビリテーションに関わる医師、言語聴覚士、理学療法士、作業療法士等

6 内 容

(1) 講演

演題 「歯科医師の目線からみた、口腔と全身機能の関連について（総論）」

講師 大河貴久 先生

〔一般社団法人京都府歯科医師会地域保健部 次長〕
〔大河歯科医院 院長〕

(2) 質疑応答（事前質問含めた質疑応答）